

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：昭和大学における去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセルの有効性と安全性の検討

1. 研究の対象

2015年1月1日～2021年3月31日に昭和大学横浜市北部病院において
前立腺がんで抗がん剤 - カバジタキセル（ジェブタナ） - での治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

前立腺癌は、初期薬物療法としてホルモン療法が有効ですが、治療を続ける間に、ホルモン治療に抵抗性をもってくることが知られています。その際、抗がん剤の治療を行いますが、その一つであるカバジタキセルは、世界中・日本で多く使用されており、その有効性と安全性が認められている薬剤です。カバジタキセルが発売、使用開始され、5年超が経過し、今回、有効性・安全性を改めて調査することとしました。すでに治療済みの患者さんのデータをカルテから収集し検討します。

個人情報の保護のため、診療情報は個人情報管理責任者が連結可能匿名化します。すなわち、診療情報から個人を識別できる情報（カルテ番号、氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し、独自の記号を付し管理を行い、個人情報が外部から特定できないようにします。

研究期間

昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから
2022年03月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液データ（血算・生化・PSA など）、単純写真、CT、MRI、骨シンチグラフィーなど
 前立腺癌の治療歴
 患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）など

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
 対応表は、当病院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

昭和大学横浜市北部病院	泌尿器科	教授	富士 幸蔵
昭和大学横浜市北部病院	泌尿器科	講師	齋藤 克幸
昭和大学横浜市北部病院	泌尿器科	講師	松原 英司
昭和大学横浜市北部病院	泌尿器科	助教	林 圭一郎
昭和大学横浜市北部病院	泌尿器科	助教	黒川 一平
昭和大学病院	泌尿器科	講師	押野見 和彦
昭和大学藤が丘病院	泌尿器科	助教	下山 英明
昭和大学江東豊洲病院	泌尿器科	講師	小川 祐

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 泌尿器科 氏名：齋藤 克幸 （研究責任者）
 住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000